

アイヌ文化体験学習

6月11日（水）の5校時に、アイヌ民族文化財団の宇佐照代さんを講師としてお招きし、アイヌの人々の歴史や伝統文化について御講演をいただきました。

「トナカイ」「ラッコ」「昆布」という言葉はアイヌ語から来ていると教えていただいた時、生徒はみな驚いた様子でした。身の回りの言葉にアイヌ語が多く使われていることを知り、驚きと興味が広がりました。

また、アイヌの人々は「熊」「シャチ」「鮭」などの様々な動物を神として崇拝していたことも学びました。

授業の後半では、アイヌの楽器や歌を紹介していただき、生徒たちも一緒に簡単な歌を歌うなど、初めてアイヌ文化に触れる貴重な体験ができました。

今回の学びを通して、今後もアイヌ文化や彼らが経験した苦勞を忘れずに、大切にしていきたいと思います。

